

令和6年度いちかわ検定（初級）問題・解答・解説

問1

市川市が昭和9年市制施行時に合併した村と町の数はいくつか。

- ①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

江戸時代には、幕府直轄の所領や寺社等に属したが、明治6年に千葉県在所管となり、明治22年の町村制の実施を経て、昭和9年11月3日市川町、八幡町、中山町及び国分村が合併し、千葉県では、千葉市、銚子市について3番目、全国で122番目の市制施行になりました。更に、昭和24年11月3日に大柏村、30年3月31日に行徳町、31年10月1日には南行徳町を合併し市域を拡大しました。

問2

元は勝願寺の末寺であったが徳川家康の帰依により名が改められ、宮本武蔵の達磨画、円山応挙作といわれる幽霊画などを所蔵する本行徳の寺院はいくつか。

- ①真間山弘法寺 ②葛飾八幡宮 ③徳願寺 ④中山法華経寺

徳願寺は、元は埼玉県鴻巣市にある勝願寺の末寺で、普光院と呼ばれた草庵でしたが、徳川家康の帰依によって、徳川の徳と勝願寺の願をとって「徳願寺」と名付けられました。慶長15年（1610）円訥不残上人を開山として創設されたと伝わっています。

本寺の山門と鐘楼は共に安永4年（1775）の建造で、山門の仁王像や大黒天像などは明治維新の際、葛飾八幡宮の別当寺であった法漸寺から移したものです。また、当寺には文化4年（1807）江戸深川の永代橋墜落による溺死者の供養塔や、宮本武蔵の遺品を納めたという石地蔵などがあります。さらに宮本武蔵筆と伝える書画、円山応挙筆と伝える幽霊画などが寺宝として伝えられています。

問3

江戸時代から伝わり、小さく刻まれた色鮮やかな羽二重をつまんで作ることに由来する伝統工芸品は次のうちどれか。

- ①屏風 ②江戸つまみかんざし ③手描友禅 ④市松人形

小さく刻まれた色鮮やかな羽二重を、つまんで作ることに由来するつまみかんざしは、江戸時代初期、上方に起こり江戸に伝わったといわれています。町人文化が開花した文化・文政年間に最盛期を迎え、明治以降も盛衰を経ながら今日まで、晴れ着姿を一層ひきたたせる女性の髪飾りとして受け継がれています。

問4

市制施行 90 周年を記念し、さだまさしさんが市川市〇〇大使に就任した。〇〇に入るのは次のうちどれか。

- ①親善 ②観光 ③全権 ④いちかわ

市制施行 90 周年を記念し、さだまさしさんが 5 月 24 日に市川市親善大使に就任しました。本市にゆかりが深く、全国的な知名度を誇るさだまさし親善大使に本市の魅力を PR していただくことで、更なる発展を目指します。

問5

市役所第 1 庁舎前にある鳥居と祠に護られた、一度足を踏み入ると二度と出てこれなくなるとの言い伝えがある場所は次のうちどれか。

- ①八幡の藪知らず ②神明寺 ③手児奈霊神堂 ④妙覚寺

国道 14 号線をはさんだ市役所の向かいに、鳥居と祠（ほこら）に護られた小さな竹藪があります。これが有名な「八幡不知森（やわたしらずのもり）」で、広辞苑にも「八幡の藪知らず」の項目があり、「ここに入れば再び出ることができないとか、祟りがあるといわれています。転じて、出口のわからないこと、迷うことなどにたとえる」とあり、江戸川乱歩の「孤島の鬼」や夏目漱石の「行人」等、さまざまな小説にも、迷い込んで出られなくなることの喩えとして使われています。

問6

真間の地を守護するといわれる女神「手児奈」を祀る手児奈霊神堂がある場所は次のうちどれか。

- ①真間 ②八幡 ③中山 ④本行徳

手児奈霊神様は古くから市川真間の地で信仰されている神様です。弘法寺の七世日与上人が手児奈のお告げによって、手児奈の奥津城（墓）と伝えられる辺りに、文亀元年（1501）建立したのが、この霊堂であると伝えてあります。この霊堂は安産、子育て、疱瘡に靈験があるとして、多くの参詣者を集めています。万葉集には伝説の美少女真間の手児奈を詠んだ歌があります。霊堂脇の池は真間の入江をとどめる唯一のもので、周囲には片葉の葦が生えており、また藤棚の下には吉田冬葉の句碑があります。

問7

45階にあるアイ・リンクタウン展望施設は、地上約〇メートルから市内全体を見渡せる。〇に入る数字は次のうちどれか。

- ①100 ②150 ③200 ④250

アイ・リンクタウン展望施設は市川駅前のザタワーズウエストの45階にあり、展望施設の高さは148.35m、展望デッキの高さは153.85mとなります。晴れた日は江戸川を渡る風を感じながらの眺望を、夜にはすばらしい夜景を楽しめます。また、回廊となっていますので、360度の眺望をご覧になれます。

問8

北米大陸から船舶のバラスト水に混ざり運ばれ、東京湾などに定着したと言われており、行徳沖でもとれる二枚貝は次のうちどれか。

- ①アワビ ②ホタテ ③ホンビノス貝 ④サザエ

ホンビノス貝とは、北米大陸から船舶のバラスト水に混ざり運ばれ、東京湾や大阪湾に定着したと考えられている外来種です。国内では、主に東京湾に生息しており、市川市・船橋市地先の三番瀬で漁獲されています。日本での繁殖が20年ほど前に確認され、現在も東京湾北部に多く生息しています。

食味の良さと砂抜きが不要であることが注目され、2007年頃から首都圏の鮮魚店やスーパーなどでも販売されるようになり、水産物として採貝される機会が増えたため、2013年には漁業権が設定されるまでになりました。また、2017年から千葉県の「千葉ブランド水産物」にも認定されています。

問9

通常は憩いの場、災害時には隣接する急病診療所と一体となり一時避難場所や救援拠点、輸送の中継地点として機能する公園は次のうちどれか。

- ①大洲防災公園 ②ぴあパーク妙典 ③里見公園 ④大町公園

大洲防災公園は、平常時は憩いやレクリエーションの場として、また災害時は江戸川の緊急用船着場や隣接する急病診療所と一体となって一時避難場所や被災の前線における救援拠点や輸送の中継拠点として機能します。地下に設置された耐震性飲料用貯水槽により、1万人の避難者に対して3日間分の飲料水が確保されています。平常時は少年野球等に利用できる多目的広場は、災害時はヘリポートとしても機能します。また、カマドになるベンチやテントが張れるパーゴラなど、災害時用の機能が備わっています。

問10

市民の花「バラ」と市の木「クロマツ」をモチーフにしたこのキャラクター名は次のうちどれか。

- ①市川梨丸 ②クロロとバララ ③キラリン・ピカリン ④いちパトくん

オリジナルキャラクター「クロロとバララ」は、より多くの方にガーデニングに親んでもらうため、「ガーデニングシティいちかわ」のシンボルとして活躍しています。市民の花「バラ」と市の木「クロマツ」をモチーフにしたこのキャラクターは、市川市にゆかりの深いイラストレーターで絵本作家の坂崎千春さんが、「ガーデニングシティいちかわ」のために描き下ろしたものとなります。